

科目名称	基礎看護学方法論Ⅲ(診療に伴う技術)	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期	1	30
担当教員	村上 裕紀、上原 茂相、山本 はる子	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (看護師) ☐ 無	

【1】授業概要

診察・検査・治療・処置における基礎看護技術を科学的根拠に基づき、確かつ安全・安楽に提供できるようになるために、診療に伴う各基礎看護技術提供に関連する既習の知識を想起し、対象に応じた援助方法を学ぶ。

【2】学習目標

1. 診察・検査・治療・処置について原理・原則に基づいた基本的援助方法および看護師の役割を説明できる。
2. 診察・検査・治療・処置における対象者の身体的侵襲、精神的影響について説明できる。
3. 1 および 2 に基づき、事例に応じた皮下注射・筋肉内注射・静脈血採血・点滴静脈注射(輸液ポンプ含む)・直腸内与薬・包帯法について医療安全を意識しながら実施でき、今後の看護ケアに活かせるよう振り返り考察できる。
4. 看護技術のエビデンスは、日々進歩し続けていることを理解し、学び続けることの必要性を理解できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

学習目標を達成することにより、次の能力を身につけることにつながります。

- ☐ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間を尊重した判断・行動
- ☒ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と支援
- ☒ 7. 主体的な学習

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	電法(苦痛の緩和・安楽確保)	講義
2	検体検査	講義
3	生体検査	講義
4	検査・処置の介助	講義
5	輸血管理	講義・DVD
6	創傷管理・褥瘡予防	講義
7	包帯法	講義・演習
8	与薬の技術	講義
9	注射Ⅰ	講義・DVD
10	注射Ⅱ	講義・DVD
11	事例に応じた看護技術	演習
12		
13	事例に応じた看護技術	演習
14		
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

科目評価は、演習態、提出物(レポート)、ミニテスト、筆記試験をもとに総合的に評価する。

【6】教科書

任和子:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ(第18版) 医学書院 2022

【7】参考書

竹尾恵子 監修:医療安全と感染管理をふまえた看護技術プラクティス(第3版) 学研 2015

猪又克子、清水芳 監修:臨床看護技術パーフェクトナビ 学研 2009

【8】受講生へのメッセージ